

平成 25 年度第 9 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 25 年 8 月 5 日（月）9:30～10:15
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 「グローバル三重教育プラン」(仮称) 庁内検討WGの設置について(案)

●倉田高校教育課長（資料 1 に基づき説明）

グローバル人材の育成の重要性が国において打ち出される中、本県でもグローバル化対応に向けた取組の柱をとりまとめ、それに基づいて施策を展開していく必要がある。そのために、庁内検討WGを設置し、「グローバル三重教育プラン」(仮称) を策定したい。

☆石垣副知事

大学、社会人の取組とあるが、例えば、環境生活部の多文化共生社会に向けた取組の中で人材育成が進められている。これらも想定しているのか。

●倉田高校教育課長

それも含めてトータルで考えたい。

☆石垣副知事

大学、社会人の取組とはどんなものか。

●倉田高校教育課長

県が行う大学、社会人の取組を中心に考えたい。

☆小林企業庁長

WGの構成メンバーは通常なら班長クラスのイメージだが、課長としているのは特に理由があるのか。

●荒木教育総務課長

県全体の取組を考えており、各部の意見を広く吸い上げて課長を中心にとりまとめたい。場合によって作業グループを設ける際は班長が中心になってくるものと考えている。

☆鈴木知事

三重県が人口減少社会の中で選択される地域になっていかないといけない。子どもの人生にとって良い教育がなされているかどうか非常に大きな要素になってくる。単に教育の延長として見ずに、三重県がいろいろな人から選ばれる地域としていくためにという視点で、大事な事として取り扱ってほしい。いくつかの外資系企業では、三重県の工業高校の生徒の技術や仕事に対する姿

勢への評価が高い。ただ、もう少し英語ができたりとか、グローバルについての理解があればもっとたくさん働いてもらえるという声もよくある。県内で次世代の子どもたちの働く場を確保する意味でも大変重要であり、多様な視点での思いからこのグローバル教育をやろうと考えている。相当本気でやるのでよろしく願いしたい。

議題2 平成25年度三重県・熊野市・御浜町総合防災訓練の実施について

●日沖防災対策部次長（資料2に基づき説明）

平成25年9月1日（日）9時～12時に、熊野市、御浜町、紀宝町内の各地で総合防災訓練を実施する。

主な訓練内容は、住民参加による避難訓練、災害時の医療対応訓練、海上からの救助・搬送訓練等である。

また、今回の訓練はテレビ放送で生中継を行う。

エリア内の各地で様々な訓練を実施することから多くの人手を要するため、各部局から人的協力をお願いしたい。

●稲垣防災対策部長

今回の訓練は、テレビ放送を行うこと、主会場は設けず各地で行うこと、本部員会議等を開催しない計画であることから、各部局長におかれては、必ずしも現地に足を運んでいただく必要は無い。

☆石垣副知事

現場には来られなくても、テレビは見るように、ということでもいいか？

●稲垣防災対策部長

生中継でなくても、ビデオ録画でも良いので、見ていただきたい。

議題3 平成25年度「秋の政策協議」の実施について

●大橋企画課長（資料3に基づき説明）

「秋の政策協議」の目的、議題、日程等について、説明する。

重点化施策の選定方法について、別紙3に基づき説明する。

資料は、オールインワンシステムを用いる。

協議内容の検討にあたっては、三重県政策アドバイザーを積極的に活用してほしい。

☆石垣副知事

選択・集中プログラム、重点化施策、進展度C評価の施策以外に、個別に検討すべき課題については、どのように議論するのか。

●大橋企画課長

選択・集中プログラムの議論においても、社会情勢の変化へ対応するものは反映していきたい。

☆植田副知事

重点化施策は、少子化対策をテーマにするとあるが、それ以外にも、国の成長戦略に関連する課題や将来の芽出しにかかる課題についても議論してほしい。

時期的にテーマを絞るのは早すぎるのではないか。課題のタマ出しについては、門戸を拡げておいてほしい。

●大橋企画課長

個別の検討課題についても、何らかの形で対応していきたい。

☆鈴木知事

進展度C評価の施策について、ブラッシュアップ懇話会で委員からいただいた意見への対応については、この協議の場で示されるのか。

●稲垣総務部長

委員からいただいた意見については、事前に二役レクをしたい。また、各局へフィードバックする。

☆鈴木知事

委員からいただいた意見は、会議のメンバーで共有できるようにすべきである。

●山口戦略企画部長

対応する。

☆石垣副知事

夏休み期間中ではあるが、各所で十分に議論してほしい。

選択・集中プログラムや社会情勢の変化への対応も含めて、きちんと議論してほしい。

議題4 「県民の声を受けて」8月1日公表分の概要について

●山口戦略企画部長（資料4に基づき説明）

声の件数は56件、対応件数は62件となっている。主な内容では、職員の給与削減に関する意見を多数いただいている。また、県の取組に対する激励、賛同として、県庁の受付に花が飾られていることに賛同の意見をいただいている。県民の声を受けて実施した案件については、DV相談機関が県ウェブサイトの情報では少なく、利用者がすぐに相談できるよう情報を整理してほしいとの要望を受け、相談機関に関する情報を充実したものである。

全体で62件の対応をしていただいているが、内容をよく確認し、参考にして

ほしい。
(質疑なし)

議題5 コンプライアンスの推進

●三宅コンプライアンス推進監(資料5に基づき説明)

第2回コンプライアンス・ミーティングの実施をお願いしたい。題材を4つ用意したので、活用いただき10月15日までに実施報告をお願いする。

また、チェックシートも併せて送付するので、コンプライアンス・ミーティング実施時などに職員の自己検証としての実施をお願いする。年2回、上期下期に実施し、意識、行動の低い部分などについて、ミーティングでの話題にしてほしい。

(質疑なし)

☆鈴木知事

議題以外になるが、2点ほど指示がある。

市町長との1対1対談については、地域連携部において、事前、事後の調整やフォローアップを実施しているところであるが、事前調整と異なる内容での合意であっても、組織のトップ同士が合意したものであり、重く受け止めて、対応をしてもらいたい。

また、これから、秋の政策協議や予算編成が進むことになるが、市町との関係については、丁寧な議論、対応を十分をお願いしたい。